

安全データシート

1 / 6 頁

作成日 2003 年 10 月 3 日

改訂日 2021 年 9 月 3 日

{ 1. 化学品及び会社情報 }

化学品名	ハンドソープ 白
会社名	郵政石鹼株式会社
住所	〒 731-5102 広島県広島市佐伯区五日市町石内 509-3
電話番号	082-928-0328
FAX 番号	082-928-1010
緊急連絡先	上記と同じ
推薦用途及び使用上の制限	油汚れ等の手の洗浄・身体洗浄は不可

{ 2. 危険有害性の要約 }

GHS 分類

物理化学的危険性	/ 分類基準に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性 (経口)	/
急性毒性 (経皮)	/
急性毒性 (吸入)	/
皮膚腐食性・刺激性	/
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	/
皮膚感作性	/
呼吸器感作性	/
生殖細胞変異原性	/
発がん性	/
生殖毒性	/ 区分 1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	/
特定標的臓器ばく露 (反復ばく露)	/ 区分 2
吸引性呼吸器有害性	/
環境に対する有害性	
水生環境有害性 (急性)	/
水生環境有害性 (長期間)	/
オゾン層への有害性	/

※ 上記で記載のない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHS ラベル要素又はシンボル



注意喚起語	/ 危険
危険有害性情報	/ 飲み込むと有害・
注意書き	/ 取扱い後はよく手を洗い、手荒れ防止にハンドクリーム等で手入れする 粉塵・ガス・ミスト・蒸気・スプレー・を吸入しないこと 環境への放出を避けること

{対応} / 眼に入った場合はこすらず水で数分間注意深く洗い流し、コンタクトレンズを使用して
いる場合は容易に外せる場合は外して洗浄を続け異常があれば医師の診断を受ける。

{保管} / 乾燥しやすい場所や直射日光は避ける

{廃棄} / 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の処理業者に委託すること

{3. 組成、成分情報}

単一化学物質・混合物の区分 / 混合物

組成及び含有量

化学名又は一般名	含有量(重量%)	CAS 番号	化審法官報公示整理番号	PRTR 法	安衛法通知対象物 政令番号
水分	非公開	7732-18-5	非公開	—	—
ポリオキシエチレン アルキルエーテル	非公開	68131-40-8	7-97	第一種指定化学物質 (政令番号407)	—
ポリオキシアルキレンアル キルエーテル	非公開	非公開	7-97	—	既存
イソパラフィン	非公開	68551-16-6 68551-17-7	(2)-9 : (2)-10	—	(ノナン、政令 番号432)
脂肪酸ジェタノールアミ ド	非公開	68603-42-9、 111-42-2	8-311、2-302	—	既存
粉末ポリエチレン	非公開	9002-88-4	(6)-1	—	公表
メチルイソチアゾリノン	微量	非公開	非公開	—	—
色素、アロエエキス 香料、増粘剤	微量	非公開	非公開	—	—

(一) は「該当しない」です。

{4. 応急措置}

吸入した場合 / 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休ませる
皮膚に付着した場合 / 水又は温水で洗い流し、皮膚刺激が生じた場合は医師の診断を受ける
眼に入った場合 / 目を擦らず直ちに清浄な水で15分以上注意深く洗いコンタクトレンズを着用し
ている場合は外せたら外し、洗浄を続け異常があれば医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 / 水で口の中を洗浄し、無理に吐かせず、コップ1~2杯の水か牛乳を飲ませ、
直ちに医師の診断を受ける。

{5. 火災時の措置}

消火剤 / 粉末消火剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはいけない消火剤 / 情報なし
特有の危険有害性 / 情報なし
特有の消火方法 / 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用し、消火作業はできるだけ風上から行
う。
消火を行う者の保護 / 消火作業は適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用して作業すること

{ 6. 漏出時の措置 }

- 人体に対する注意事項と
保護具及び緊急時措置 / 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出時の処理を行う際は、必ず保護メガネ、保護衣等を着用して、
こぼれた場合はすべりやすいので注意する。
- 環境に対する注意事項 / 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注
意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されず
に環境へ流出しないように注意する。又、漏出物を直接に河川に流しては
いけない。
- 除去方法 / 少量の場合は、吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ、取り
除いた後、残りをウエスや雑巾等でしっかり拭き取る。
大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処
理する。漏出したものをすくい取るか掃き集めて紙袋やドラム缶等に回収
する。回収後の少量の残留分は土砂かおがくずなどに吸収させる。
- 二次災害の防止策 / 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、すぐ消火剤を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用すること。

{ 7. 取扱い及び保管上の注意 }

- 取扱い並びに技術的対策 / 取扱いの都度容器を密閉し、眼や衣類に付けないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 安全取扱注意事項 / 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又引きずる等の乱暴な取扱いを
しないこと。
- 保管
適切な保管条件 / 直射日光を避け、換気の良い場所で容器を密閉し保管すること。
施錠して保管すること。
酸や酸化剤、酸化性の強い物質との保管は一緒にしないこと。
冬季は凍結を避けるため、0℃以下にならない場所に保管すること。
- 安全な容器包装材料 / 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。
専用の詰め替え容器以外に移し替えて保管しないこと。

{ 8. ばく露防止及び保護措置 }

- 管理濃度 / 設定されていない
- 許容濃度 /
- 日本産業衛生学会 / 設定されていない
- 設備対策 / 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄と身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具	/	特に必要としない
手の保護具	/	必要に応じて保護手袋を使用する
眼の保護具	/	必要に応じて保護眼鏡を使用する
皮膚及び身体の保護具	/	必要に応じて保護衣を使用する

{ 9. 物理的及び化学的性質 }

外観	/	白色ゼリー状 (スクラブ粒子入り)
臭い	/	香料の香り
pH (原液)	/	6~6.5 (代表値)
融点・凝固点	/	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	/	データなし
引火点 (セタ密閉式)	/	データなし
自然発火温度	/	データなし
燃焼性	/	該当しない
燃焼又は爆発範囲下限、上限	/	データなし
蒸気圧	/	データなし
蒸気密度	/	データなし
蒸発速度	/	データなし
比重 (25℃)	/	約 1 (代表値)

{ 安定性及び反応性 }

化学的安定性	/	通常の状態では安定
危険有害反応可能性	/	強酸化剤との接触は避ける
避けるべき条件	/	高温の場所に置かないこと
混触危険物質	/	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触させない
危険有害な分解生成物	/	現在のところ有用な情報なし

{ 有害情報 }

急性毒性：経口	/	分類基準に該当しない
---------	---	------------

皮膚腐食性：刺激性	/	分類できない
眼に対する重篤な損傷性	/	分類できない
※ 眼刺激性	/	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	/	分類できない
生殖細胞変異原性	/	情報なし
発がん性	/	情報なし
生殖毒性	/	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	/	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	/	分類できない
吸引性呼吸器有害性	/	情報なし
その他の情報	/	通常の使用方法による使用量をはるかに超える暴露があった場合に危険性がある

{12. 環境影響情報}

※ 生体毒性

水生環境有害性(急性)	/	分類できない
水生環境有害性(長期間)	/	分類できない
オゾン層への有害性	/	情報なし
他の有害影響	/	情報なし

{13. 廃棄上の注意}

※ 残余廃棄物

汚染容器及び包装

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に沿って適切な処分を行うこと。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

{14. 輸送上の注意}

※ 国際規制

国連分類	/	国連勧告の定義上の危険物に該当しない
国連番号	/	該当しない

※ 国内規制

陸上輸送	/	労働安全衛生法に定められた輸送方法に従う
海上輸送	/	船舶安全法に定められている輸送方法に従う

航空輸送	/	航空法に定められている輸送方法に従う
輸送の特定の安全対策及び条件	/	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等の無いことを確かめる。 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を 確実に行う。 直射日光・高温多湿・氷点下での保管を避ける。
緊急時応急措置指針番号	/	該当しない

{15. 適用法令}

化学物質排出把握管理促進法	/	非該当
労働安全衛生法		
危険物	/	非該当
有機溶剤中毒予防規則	/	非該当
表示対象物質	/	非該当
徳物及び劇物取締法	/	非該当
消防法	/	非該当

{16. その他}

※ 参考文献

原料メーカーMSDS より

独立行政法人製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報システム」データベース

厚生労働省 職場の安全サイト「GHS 対応モデルMSDS」

{ 記載内容の取扱い }

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い致します。また記載事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合は新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。また記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。